

令和4年3月31日付専決補正予算（令和3年度）の概要について
（令和3年度一般会計補正予算第14号）

（1）概要

一般会計は、既定の歳入歳出予算の総額に7,018万2千円を追加し、補正後の歳入歳出予算の総額を242億9,472万2千円といたしました。補正内容は下記のとおりです。

① 各種交付金などの歳入補正と基金への積立の歳出補正

② 令和3年度内での事業完了が延伸となる繰越明許設定の補正

なお、集約の結果、歳入と歳出に差額が生じたため、財政調整基金繰入金を8,744万9千円減額し、財政調整基金積立金を4,705万3千円増額することで収支を調整しています。

（2）主な歳入歳出補正予算（一般会計）

① 各種交付金などの歳入補正と基金への積立の歳出補正

○歳入

- 地方消費税交付金・・・・・・・・・・1億5,119万5千円（財政課）
- 法人事業税交付金・・・・・・・・・・5,153万7千円（財政課）
- 特別交付税・・・・・・・・・・3,639万5千円（財政課）
- 株式等譲渡所得割交付金・・・・・・・・2,593万4千円（財政課）
- 新型コロナウイルス感染症対策
地方税減収補填特別交付金・・・・・・・・△1億5,225万8千円（財政課）
- ふるさと応援企業寄附金・・・・・・・・500万円（企画課）
- ふるさと思いやり寄附金・・・・・・・・140万円（企画課）

○歳出

- ふるさと思いやり基金積立金・・・・・・・・140万円（企画課）
- 森林環境譲与税基金積立金・・・・・・・・204万9千円（農林課）

（3）繰越明許設定の補正（一般会計）

② 令和3年度内での事業完了が延伸となる繰越明許設定の補正

○繰越明許設定の追加

- かたくりの湯管理運営事業・・・繰越額 265万円（社会福祉課）
→半導体不足により、工事に係る部品の調達に時間を要したことから、年度内に事業完了が困難となったため。

○繰越明許設定の変更

- 道路新設改良事業（単独）・・・繰越額 4,600万円 → 6,300万円（建設課）
→工事により移設を行う水道管等の製品について、使用している塗料の認証に関する製造元の不正行為に伴う出荷停止により、必要となる材料調達に時間を要したことから、年度内に事業完了が困難となったため。

△はマイナス（減額）を表しています。

(4) その他の補正

(歳出)

■個人番号カード等交付事業=400万円（市民課）

→マイナンバーカードの普及促進に係る国のマイナポイント事業の効果等により、全国的に今年度のマイナンバーカード交付実績が大きく上昇したことに伴い、個人番号カード等関連事務を委託している地方公共団体情報システム機構（J-LIS）に支払う個人番号カード等関連事務委託交付金が増加したことによる増額補正です。

※財源・・・個人番号カード交付金事業費国庫補助金=400万円（補助率10/10）

■一般職人件費=1,568万円（総務課）

→令和3年度末退職者の数が当初の見込みよりも増加したことに伴う退職手当特別負担金の増額補正です。

一般会計補正予算(第14号)

(単位：千円)

会計区分	補正前	補正額	補正後	備考
一般会計	24,224,540	70,182	24,294,722	

繰越明許費

(追加)

(単位：千円)

款	項	事業名	金額
3 民生費	1 社会福祉費	かたくりの湯管理運営事業	2,650

(変更)

款	項	事業名	補正前	補正後	増減額
8 土木費	2 道路橋梁費	道路新設改良事業（単独）	46,000	63,000	17,000